

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

生産性の向上

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

御礼

令和8年度 全線開通予定

国道155号 豊田南バイパス

長野県(仮称)駅

FIA世界ラリー選手権
FORUMS RALLY JAPAN 2024

世界屈指のテストコースを併設する
トヨタテクニカルセンター下山
令和6年3月 全面運用開始

雇用を支える製造業

世界につながる自動車製造ネットワーク

三河港

最重点要望路線



令和6年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、気候変動による豪雨等の自然災害の激甚化・頻発化や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた持続可能な経済社会の構築、世界的な物価高騰等による経済の下振れリスクへの対応等、「時代の転換点」ともいえる構造的な課題に直面しています。また、GX・DX の推進、経済安全保障の強化、新たな国土形成計画に基づく「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現にも取り組む必要があります。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴い強度と頻度が増加する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など、我が国同様に様々な課題を抱えています。

このような状況に加え、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、ものづくり産業の中核としてこれまで以上に日本経済を牽引し将来にわたり持続可能な経済成長を実現させるためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化を図る道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及び GX・DX の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 生産性を向上させ、成長力及び国際競争力の強化に資する幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 2 広域な人流・物流を支え強靱で信頼性の高い幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
- 3 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保すること**
また、令和6年能登半島地震を踏まえ、必要な予算・財源を別枠で確保すること
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること**

■ 重点要望事項 ■

○太字は最重点要望事項

持続的な経済成長の実現

＜物流ネットワークの機能強化＞

○国道 301 号（根引・林添バイパス）の早期整備

○（都）豊田刈谷線（一般県道宮上知立線バイパス）の早期整備

＜高規格幹線道路へのアクセス強化＞

○国道 419 号（四郷拡幅）の早期整備

・国道 301 号（益富拡幅）の早期整備

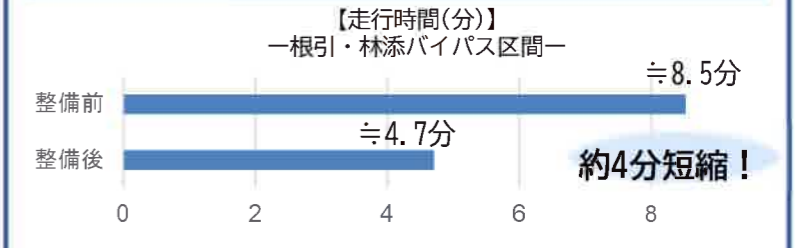
・国道 419 号（西中山バイパス）の早期整備

・国道 419 号（四郷亀首拡幅）の早期事業化

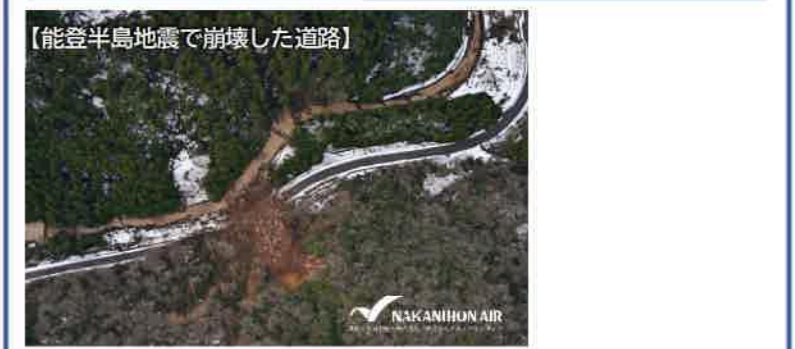
- 産業拠点の経済活動を支援し、ものづくり中枢都市の成長を実現
- 安全・安心な暮らしを支え、活力を保ち続ける山村地域を実現



次世代のものづくりのさらなる発展に貢献
産業拠点及びICへのアクセス性向上



自然災害から地域のいのちと産業を守る
緊急輸送道路ネットワークの強化



□第2次緊急輸送道路に指定されているが
落石崩落箇所が点在(拡大図：土砂災害特別警戒区域参照)
→緊急輸送道路の代替性及び信頼性の確保

山村地域の生活機能を維持
安全性・走行性が向上し地域の持続性を確保



□線形不良等により交通事故が多発し、
令和1年には死亡事故が発生。また通学路にも指定
□都市部と山村部を結ぶ基幹バス路線にも指定
→第3次救急医療施設へのアクセス性が向上

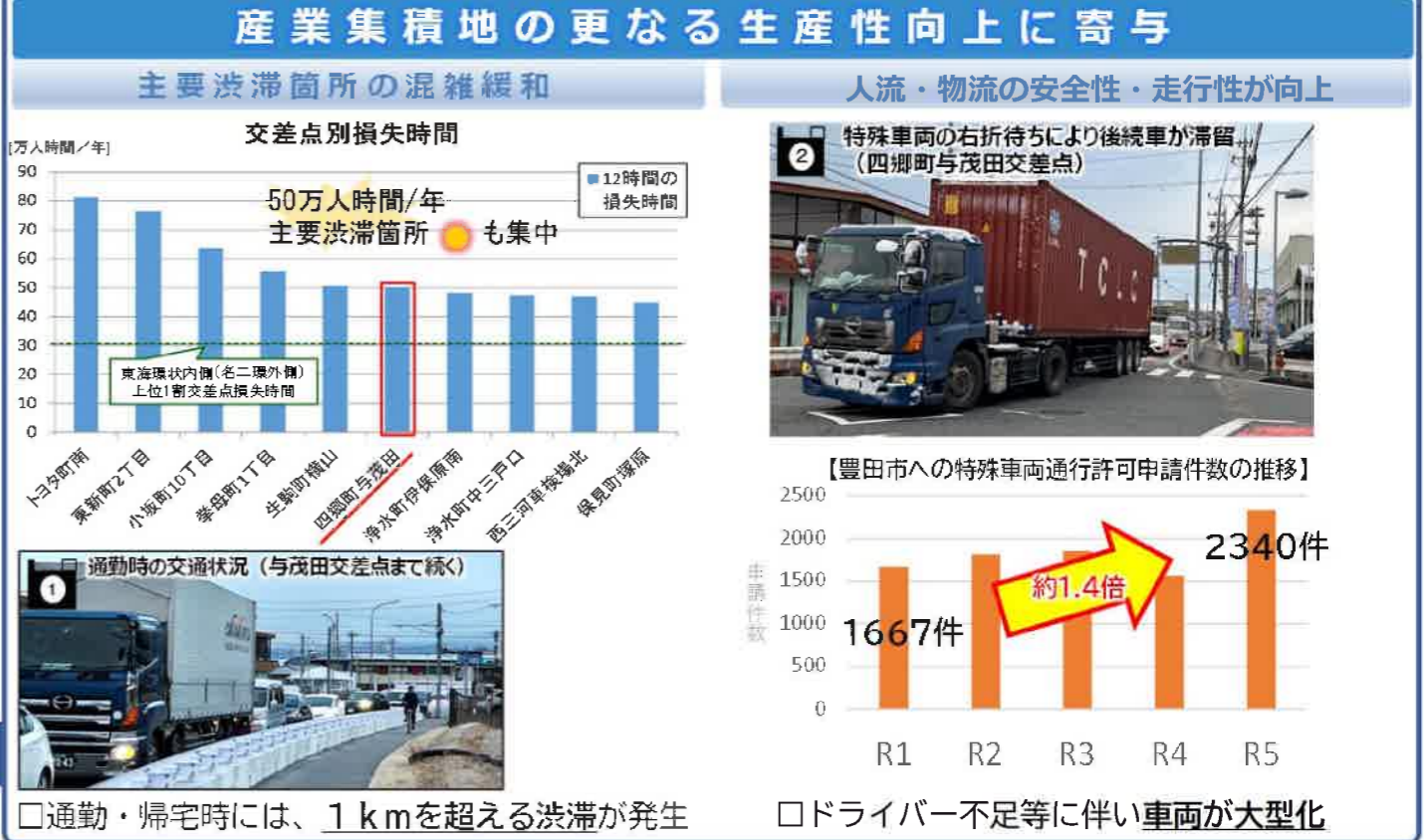
「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設
「Toyota Technical Center Shimoyama」全面運用開始



アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

- 令和6年3月25日 全面運用
- 従業員数 3,000人 (拡大し得る容量3,850人)
 - 本社と下山間の出張者数 3,656人 (R6.4~5 稼働40日分)
 - 開発車両の輸送 30便/日
- 根引・林添バイパスの開通により
- ・さらなる輸送力向上!
 - ・フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上!

- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靱化
- 交通需要の増加に合わせた4車線化整備



(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】 ~ものづくり産業の基盤を支え 高規格道路へのアクセス性を高める道路整備~

- 自動車産業集積地と伊勢湾岸自動車道とを結ぶ物流ネットワークを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安全・安心な道路交通の実現



県道宮上知立線の代替機能を発揮
国内外に向けたサプライチェーンを強靱化



□ 県道宮上知立線の代替機能を発揮
⇒ 災害発生時においても交通を確保



□ 中田工区が令和4年12月に供用開始
⇒ 物流の速達性・信頼性・強靱性が向上

通過交通や大型車交通の機能分担
現道区間の混雑緩和や安全性を向上



□ 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所に指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生
⇒ 安全・安心な道路交通環境を実現

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



- 持続的な経済成長の実現**
- 物流ネットワークの機能強化**
- 国道153号 豊田北バイパス
 - 国道155号 豊田南バイパス
 - 国道301号 根引・林添バイパス
 - (都)豊田刈谷線(一般県道宮上知立線バイパス)
 - ・主要地方道豊田安城線(榑塚西町～福受町)
 - ・主要地方道名古屋岡崎線(吉原町～和会町)
 - ・(都)高橋細谷線
- 高規格道路へのアクセスの強化**
- 国道419号 四郷拡幅
 - ・国道419号 西中山バイパス
 - ・国道419号 四郷亀首拡幅
 - ・国道301号 益富拡幅
 - ・(都)豊田則定線(高橋町)
- 日常生活移動の円滑化**
- ・国道419号 藤岡飯野交差点

- 個性をいかした地域づくり**
- 市域の一体性・交流を支える道路の整備**
- ・国道420号 足助バイパス
 - ・国道473号(和合町)
 - ・主要地方道足助下山線(箕林町)
 - ・主要地方道足助下山線(大沼町)
 - ・主要地方道豊田明智線(浅谷町～須測町)
 - ・主要地方道豊田明智線(藤沢町)
 - ・主要地方道岡崎足助線(鍋田町)

- 市民の安全・安心の確保**
- 緊急輸送道路の信頼性の向上**
- 国道153号 伊勢神改良
 - ・国道153号、国道155号の防災対策
 - ・国道301号、国道419号、国道420号、主要地方道瀬戸設楽線、豊田明智線、岡崎足助線、土岐足助線の防災対策
 - ・国道153号、国道155号の橋梁の耐震対策
 - ・一般県道豊田環状線の橋梁の耐震対策
 - ・国道153号小田木、野入地区交通安全対策

凡例	
	重点要望事項 (国事業)
	重点要望事項 (愛知県事業)
	要望事項 ※○は最重点要望事項

令和6年 7月10日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長

太田稔彦

豊田市議会議長

羽根田利明

豊田商工会議所会頭

三宅英臣